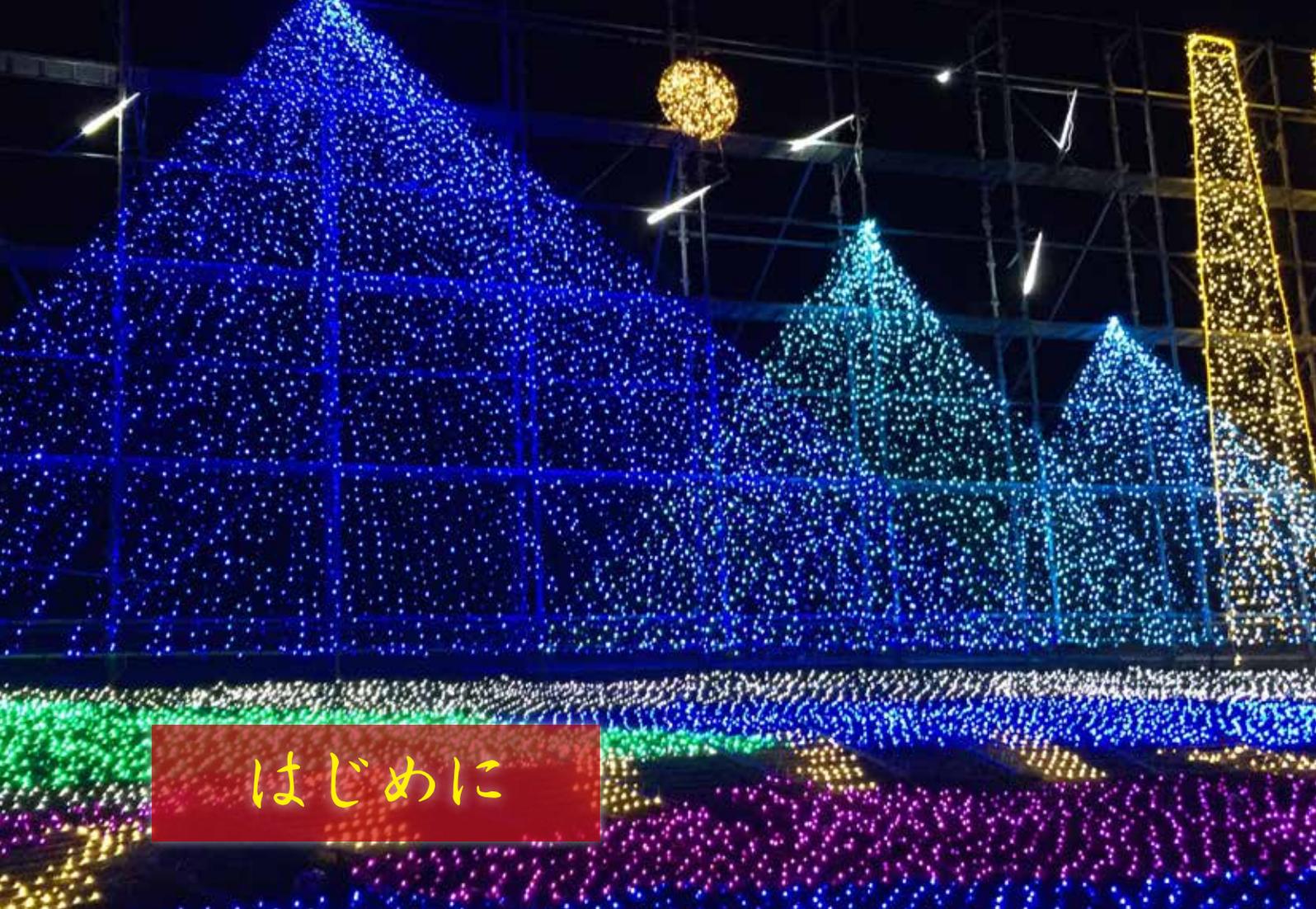




居合道 だより

第137号



はじめに

毎年この時期になると感じるのだが、本当に1年が過ぎることの早さに驚かされる。

今年の居合道部の最後の正式行事である稽古会が先月末に開催された。

今年度の全日本の監督、コーチ陣も初心に帰り、一般会員と一緒に熱心に稽古に取り組んでいる姿は実に清々しく敬服させられる。

指導することと自分自身の稽古を両立させるのはなかなか難しい。指導内容を常に自身に反映させ、自分が出来ているかどうかを確認してみるのが重要になってくる。

しかし時間的な制約もあるし、後進を育てるのに一生懸命で、現実的にはそう上手くはいかない。

指導者になるくらいだから、正しい居合を熟知しているし、当然自身で出来る
する。

そして指導を受ける者がどんどん上達していくのを見ると、自分のやっている
ことが間違っていないことも確信する。

しかし、そこに指導者が陥りやすい落とし穴が出現する。

今まで自分は出来ていたのだから、当然今も出来る。出来ているのは当たり前だ
と勘違いする。

しかも指導者に対しては誰も何も指摘はしてくれない。

熟練者ほど時間とともに微妙なズレが出てくるものである。

指導者は長い間、人一倍の修行をしてきて、技前が頭に、そして身体、血肉に染
み込んでいる。しかしそれなりの年齢になってくると、少しずつ筋肉の強さ、身
体の可動域が衰えていくのはいかんともし難い。

一方で若い人や下段者の人たちは、少々休んでもあまり変わらない。しばらく休
んでいたその人たちからよく、下手になってしまって、と聞くことがあるが、そ
の時は冗談交じりに励ますことにしている。『大丈夫です。下手になるほど上手
くはありませんから』と。

しかし高段者は別である。

長く世界のプリマ・バレリーナとして活躍し、今は指導者として後進を育ててい
る森下洋子さんは言っている。『一日休めば自分で気付き、二日休めば仲間が気
付く、三日休めば素人も気付く』と。

以上、強く深く自戒を込めて。

主な活動

11月11日(土) 剣道・居合道・杖道教士称号筆記試験
全剣連
東京都千代田区・名古屋市・神戸市・福岡市

18日(土) 居合道6・7段審査会 全剣連
東京都

24日(金) 居合道八段審査会(東京) エスフォルタアリーナ
八王子

受審者数	合格者数	合格率
126	2	1.6%

26日(日) 居合道部稽古会・級審査会 居合道部
福岡武道館

12月・1月の活動予定

12月10日(日) 地域稽古会

1月8日(祝) 居合道初稽古会 居合道部 福岡武道館
懇親会

第52回全日本居合道大会 観戦記

平成29年10月21日(土)、台風の影響で雨模様の広島サンプラザにおいて、標記大会が実施された。

我が福岡県代表は、昨年に引き続き、吉田初喜監督をはじめ、和泉修二選手(七段の部)・廣房憲治選手(六段の部)・荒木正亨選手(五段の部)の三名が出場した。

草間審判長による指定技は3本目(受流し)・6本目(諸手突き)・10本目(四方切り)の発表があり、試合が開始された。

七段の部、和泉選手は、1回戦 新潟県の今井選手と対戦し、過去最高の業前で勝負したものの、残念ながら0-3で敗れた。

六段の部、廣房選手は、2回戦からの出場で、愛媛県の乗松選手と対戦し、切れ味抜群の業前で勝負したが、1-2で惜敗だった。

五段の部、荒木選手も、2回戦からの出場で、静岡県の大田選手と対戦し、昨年とは比べ物にならないほどの業前で勝負したが、1-2で惜敗となった。

大会の結果は、団体の部で、広島県が第一位、第二位新潟県、第三位神奈川県で、福岡県は、第27位であった。

大会の前日、吉田監督は「悔いのない居合をしろ」と檄を飛ばして、選手達を鼓舞された。

閉会式終了後の選手達の、さわやかな悔いのない表情が、印象的であった。尚、今回、審判員として初めて出場された 小田先生の、凛とした立ち振る舞いには、大会がより引き締まった感があった。

野田 尚徳 記

道場訪問 - 無心館

無心館創立は 範士八段 故山下正光先生（2007年没）が創立し、現無心館、館長の菊次先生は昭和48年入門という歴史ある道場です。

稽古理念は初発刀をもって万刀を知る。読んで字の如し、初発刀が全ての原点で全ての基本であるという方針の元、指導している。

普段の稽古内容は、全日本剣道連盟居合12本、古流（夢想神伝流の初伝中伝奥伝）、及び太刀打^{たちうち}の位などで、初心者には全日本剣道連盟居合を中心に指導している。

現在会員は17名、二段～七段まで、初心者歓迎です。

稽古日は毎週

金曜日	PM7:00~9:00	市民体育館（第2）剣道場
水曜日・土曜日	PM7:00~9:00	大牟田警察署武道場
日曜日	PM14:00-16:00	大牟田警察署武道場



大牟田警察署武道場



市民体育館（第2）剣道場





今回、インタビューさせていただいた時に菊次先生から、「一人稽古の時は予習せず、ひたすら復習しなさい」と。

居合道を初めてこれまでで、急にスイッチの入る瞬間があります。例えば新しい事が理解できて、それがきっかけになって、やたらと試したくなる時です。例えば、「納刀の時の指はこうやった方がいい」等と先生から習った時に、そのきっかけがつかめて、なんとなく”できるんじゃないか？”と思った瞬間です。

無性に稽古したくなって何度も繰り返したく指の先がムズムズ、体がムズムズ〜と・・・

いつも道場訪問して思うのだけど、今回もまた無心館を訪問してみなさんの熱心な稽古を見て、ムズムズする自分がいた。

(写真は稽古中の八段 小田先生の抜き付けの瞬間です。)



© 公益社団法人 福岡県剣道連盟・福岡県剣道連盟 居合道部

第137号 平成29年12月1日発行

発行：福岡県剣道連盟居合道部

URL : <http://riai.info/>

発行人：井手友太

〒819-1132 糸島市有田36番地-1

TEL:092-322-0847